

宮城県内企業「メインバンク」動向調査 (2024)

七十七銀行、シェア 5 割超 ～上位地元 3 行のシェア合計約 75%～

はじめに

人口減少や超低金利の長期化による収益環境の悪化など厳しい経営環境が続いてきた金融機関は、政策金利の引き上げなどが追い風となり収益が改善しつつある。一方で、割安な手数料や横断的な各種サービスで顧客囲い込みを図るネット銀行が台頭してきている。東北では、今年 1 月 1 日に青森銀行とみちのく銀行が合併して「青森みちのく銀行」が誕生した。2027 年 1 月 1 日には荘内銀行と北都銀行が合併し「フィデア銀行」として誕生する予定であり、全国的にも銀行再編が活発な地域として注目されている。こうした環境下において、従来の貸し出しシェア競争から一線を画し、コロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも影響を与える可能性がある。

帝国データバンク仙台支店では、企業概要データベース COSMOS2（特殊法人・個人事業主含む）から、宮城県内の企業がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる場合がある。また、1企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

調査結果（要旨）

1. 宮城県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**七十七銀行**（仙台市）の 1 万 3879 社で、シェア 55.92%
2. 上位 3 行は**七十七銀行**、**仙台銀行**（仙台市）、**杜の都信金**（仙台市）となり、シェア合計は約 75%。上位 8 位まで地元金融機関が占め、県外トップは 9 位の**北日本銀行**（盛岡市）
3. 業種別は、その他産業（農林水産、鉱業など）以外は 1 位**七十七銀行**、2 位**仙台銀行**、3 位**杜の都信金**の順。
4. 売上規模別もすべて 1 位が**七十七銀行**。売上高「50 億円以上」は、メガバンクや地銀等の県外金融機関が上位 10 行中 8 行占める

1. 上位 30 行 ～トップ 10 は前年と同じ顔ぶれ、県外は 2 行

宮城県内の企業がメインバンクと認識している上位 30 行は表 1 の通り。1 位は、**七十七銀行**（仙台市）で、1 万 3879 社、55.92%のシェアを占めた。2 位は、**仙台銀行**（仙台市、3234 社、同 13.03%）、3 位は、**杜の都信金**（仙台市、1467 社、同 5.91%）となり、地元上位 3 行のシェア合計は 74.86%となった。1 位の**七十七銀行**は、2 位以下を 40 ポイント以上引き離し、引き続き 5 割超の圧倒的なシェアを確保している。

4 位は、**仙南信金**（白石市、597 社、同 2.41%）、5 位は、**石巻商工信組**（石巻市、503 社、同 2.03%）と続き、上位 8 行までを地元金融機関が占めた。県外に本店を置く金融機関は、盛岡市の**北日本銀行**（9 位）、山形市の**きらやか銀行**（10 位）となり、トップ 10 は前年と同じ顔ぶれ。シェア前年比も大きな変動はなくほぼ横ばいだった。メガバンクでは、**三菱UFJ銀行**（12 位）が最高で、**みずほ銀行**（14 位）、**三井住友銀行**（15 位）となった。

表 1 宮城県メインバンク社数 上位 30 行

2024年						2023年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	13,879	+108	55.92%	▲ 0.30	1	13,771	+10	56.22%	+0.16
2	仙台	3,234	+37	13.03%	▲ 0.02	2	3,197	▲ 5	13.05%	±0.00
3	杜の都信金	1,467	▲ 17	5.91%	▲ 0.15	3	1,484	▲ 29	6.06%	▲ 0.10
4	仙南信金	597	▲ 4	2.41%	▲ 0.04	4	601	+5	2.45%	+0.02
5	石巻商工信組	503	+1	2.03%	▲ 0.02	5	502	▲ 9	2.05%	▲ 0.03
6	石巻信金	443	+13	1.78%	+0.02	6	430	▲ 4	1.76%	▲ 0.01
7	気仙沼信金	357	+3	1.44%	▲ 0.01	8	354	▲ 6	1.45%	▲ 0.02
8	宮城第一信金	356	▲ 6	1.43%	▲ 0.05	7	362	▲ 3	1.48%	▲ 0.01
9	北日本	324	▲ 5	1.31%	▲ 0.03	9	329	▲ 1	1.34%	±0.00
10	きらやか	284	+3	1.14%	▲ 0.01	10	281	+15	1.15%	+0.07
11	東北	235	±0	0.95%	▲ 0.01	11	235	±0	0.96%	±0.00
12	三菱UFJ	215	▲ 1	0.87%	▲ 0.01	12	216	▲ 6	0.88%	▲ 0.02
13	岩手	211	±0	0.85%	▲ 0.01	13	211	▲ 6	0.86%	▲ 0.02
14	みずほ	194	±0	0.78%	▲ 0.01	15	194	▲ 1	0.79%	±0.00
15	三井住友	193	▲ 6	0.78%	▲ 0.03	14	199	▲ 6	0.81%	▲ 0.03
16	商工中金	177	▲ 6	0.71%	▲ 0.04	17	183	+4	0.75%	+0.02
17	古川信組	176	▲ 12	0.71%	▲ 0.06	16	188	▲ 2	0.77%	±0.00
18	山形	151	▲ 2	0.61%	▲ 0.01	18	153	▲ 5	0.62%	▲ 0.02
19	常陽	134	▲ 2	0.54%	▲ 0.02	20	136	▲ 3	0.56%	▲ 0.01
20	仙北信組	128	▲ 9	0.52%	▲ 0.04	19	137	▲ 3	0.56%	▲ 0.01
21	東邦	96	▲ 8	0.39%	▲ 0.03	21	104	▲ 2	0.42%	▲ 0.01
22	新みやぎ農協	71	+3	0.29%	+0.01	22	68	+1	0.28%	+0.01
23	りそな	59	+1	0.24%	±0.00	25	58	±0	0.24%	±0.00
24	一関信金	58	▲ 1	0.23%	▲ 0.01	24	59	▲ 3	0.24%	▲ 0.01
25	秋田	57	▲ 4	0.23%	▲ 0.02	23	61	▲ 4	0.25%	▲ 0.01
26	ゆうちょ	53	+1	0.21%	±0.00	26	52	+4	0.21%	+0.01
27	荘内	52	+3	0.21%	+0.01	27	49	▲ 2	0.20%	▲ 0.01
28	北都	45	▲ 2	0.18%	▲ 0.01	28	47	+1	0.19%	±0.00
29	仙台農協	39	+2	0.16%	+0.01	29	37	▲ 2	0.15%	▲ 0.01
30	みやぎ登米農協	29	+3	0.12%	+0.01	32	26	+1	0.11%	+0.01

2. 業種別 ～ 「その他産業」以外は「七十七銀行」、「仙台銀行」、「杜の都」の順

業種別の上位行は表2の通り。業種別では、「その他産業」以外は1位**七十七銀行**、2位**仙台銀行**、3位**杜の都信金**の順。「その他産業」（農林水産、鉱業など）は農協や漁協が上位に入っている。

表2（業種別）

建設業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	4,473	56.58%	+0.17
2	仙台	1,180	14.93%	+0.21
3	杜の都信金	588	7.44%	▲ 0.08
4	仙南信金	253	3.20%	▲ 0.04
5	石巻商工信組	199	2.52%	▲ 0.06
6	石巻信金	191	2.42%	+0.09
7	宮城第一信金	130	1.64%	±0.00
8	気仙沼信金	113	1.43%	▲ 0.06
9	東北	81	1.02%	▲ 0.02
10	北日本	78	0.99%	▲ 0.01

製造業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	1,027	56.74%	+1.11
2	仙台	220	12.15%	+0.03
3	杜の都信金	77	4.25%	▲ 0.24
4	石巻商工信組	42	2.32%	+0.05
5	仙南信金	39	2.15%	▲ 0.18
6	気仙沼信金	32	1.77%	▲ 0.12
7	商工中金	31	1.71%	▲ 0.35
8	石巻信金	30	1.66%	+0.04
8	三菱UFJ	30	1.66%	+0.04
10	北日本	29	1.60%	▲ 0.02

卸売業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	1,301	56.69%	+0.01
2	仙台	246	10.72%	▲ 0.06
3	杜の都信金	130	5.66%	▲ 0.18
4	北日本	63	2.75%	±0.00
5	石巻商工信組	55	2.40%	±0.00
6	仙南信金	44	1.92%	▲ 0.10
7	石巻信金	41	1.79%	+0.16
8	気仙沼信金	39	1.70%	+0.03
8	みずほ	39	1.70%	+0.15
10	三菱UFJ	38	1.66%	+0.03

小売業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	1,450	52.25%	▲ 0.17
2	仙台	415	14.95%	+0.38
3	杜の都信金	203	7.32%	▲ 0.04
4	仙南信金	82	2.95%	+0.01
5	石巻商工信組	79	2.85%	▲ 0.02
6	気仙沼信金	64	2.31%	+0.08
7	石巻信金	53	1.91%	▲ 0.18
8	宮城第一信金	40	1.44%	▲ 0.12
9	きらやか	39	1.41%	±0.00
10	北日本	37	1.33%	▲ 0.05

運輸・通信業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	441	46.57%	▲ 0.44
2	仙台	159	16.79%	+0.12
3	杜の都信金	54	5.70%	▲ 0.07
4	石巻商工信組	49	5.17%	+0.90
5	商工中金	34	3.59%	+0.17
6	石巻信金	27	2.85%	+0.18
7	仙南信金	23	2.43%	▲ 0.03
8	気仙沼信金	17	1.80%	+0.30
8	宮城第一信金	17	1.80%	+0.09
10	三菱UFJ	14	1.48%	▲ 0.12

サービス業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	3,783	58.25%	▲ 1.68
2	仙台	742	11.43%	▲ 0.39
3	杜の都信金	262	4.03%	▲ 0.12
4	仙南信金	111	1.71%	▲ 0.06
5	北日本	74	1.14%	▲ 0.05
6	きらやか	73	1.12%	▲ 0.02
7	宮城第一信金	71	1.09%	▲ 0.08
8	石巻信金	70	1.08%	+0.02
9	気仙沼信金	69	1.06%	±0.00
10	三菱UFJ	67	1.03%	▲ 0.01

不動産業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	1,088	58.87%	▲ 0.03
2	仙台	194	10.50%	▲ 0.08
3	杜の都信金	134	7.25%	▲ 0.31
4	宮城第一信金	41	2.22%	▲ 0.08
5	きらやか	40	2.16%	+0.08
6	仙南信金	31	1.68%	+0.26
7	北日本	26	1.41%	+0.04
8	三井住友	25	1.35%	▲ 0.24
9	三菱UFJ	23	1.24%	+0.09
10	山形	22	1.19%	+0.04

その他産業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	316	42.42%	▲ 0.06
2	仙台	78	10.47%	▲ 0.22
3	新みやぎ農協	44	5.91%	+0.28
4	杜の都信金	19	2.55%	+0.02
5	みやぎ仙南農協	17	2.28%	▲ 0.11
6	宮城県漁協	16	2.15%	▲ 0.24
7	いしのまき農協	14	1.88%	+0.05
7	仙南信金	14	1.88%	▲ 0.23
9	みやぎ登米農協	13	1.74%	+0.05
10	気仙沼信金	12	1.61%	+0.06

3. 売上規模別 ～「50 億円以上」はメガバンクや県外地銀などが上位に

融資先の売上規模別の上位行は表 3 の通り。**七十七銀行**が各売上規模でシェア 5 割を上回りトップ。売り上げ規模が大きくなるにつれ県外金融機関が目立つようになり、売上高「50 億円以上」は上位 10 行中、8 行をメガバンクや地銀などの県外金融機関が占めた。

表 3（売上規模別）

売上高5000万円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	5,207	56.64%	▲ 0.54
2	仙台	1,213	13.19%	▲ 0.10
3	杜の都信金	606	6.59%	▲ 0.11
4	仙南信金	234	2.55%	▲ 0.02
5	石巻商工信組	193	2.10%	▲ 0.03
6	気仙沼信金	177	1.93%	±0.00
7	石巻信金	161	1.75%	▲ 0.02
8	宮城第一信金	133	1.45%	▲ 0.06
9	北日本	94	1.02%	▲ 0.08
10	東北	90	0.98%	+0.03

売上高5000万円～1億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	2,570	55.42%	+0.10
2	仙台	621	13.39%	+0.15
3	杜の都信金	341	7.35%	▲ 0.29
4	仙南信金	126	2.72%	▲ 0.03
5	石巻商工信組	112	2.42%	+0.06
6	石巻信金	94	2.03%	+0.08
7	宮城第一信金	70	1.51%	▲ 0.20
8	気仙沼信金	66	1.42%	+0.06
9	北日本	58	1.25%	▲ 0.03
10	きらやか	54	1.16%	▲ 0.05

売上高1～5億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	4,165	54.98%	▲ 0.32
2	仙台	1,077	14.22%	▲ 0.22
3	杜の都信金	432	5.70%	▲ 0.13
4	仙南信金	197	2.60%	▲ 0.09
5	石巻商工信組	159	2.10%	▲ 0.10
5	石巻信金	159	2.10%	+0.09
7	宮城第一信金	121	1.60%	+0.08
8	北日本	108	1.43%	+0.02
9	きらやか	101	1.33%	▲ 0.02
10	気仙沼信金	90	1.19%	+0.03

売上高5～10億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	829	56.98%	+0.37
2	仙台	166	11.41%	▲ 0.30
3	杜の都信金	53	3.64%	▲ 0.08
4	北日本	32	2.20%	+0.34
5	商工中金	29	1.99%	▲ 0.01
6	石巻商工信組	27	1.86%	+0.34
6	きらやか	27	1.86%	▲ 0.34
8	仙南信金	26	1.79%	+0.14
8	三菱UFJ	26	1.79%	▲ 0.07
10	三井住友	25	1.72%	+0.20

売上高10～50億円

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	821	59.71%	+0.25
2	仙台	126	9.16%	+0.87
3	商工中金	46	3.35%	▲ 0.04
4	みずほ	36	2.62%	+0.06
5	三菱UFJ	33	2.40%	▲ 0.01
6	杜の都信金	31	2.25%	+0.14
6	常陽	31	2.25%	▲ 0.01
8	三井住友	30	2.18%	▲ 0.61
9	北日本	28	2.04%	▲ 0.22
10	きらやか	16	1.16%	+0.18

売上高50億円以上

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	七十七	219	52.02%	+0.93
2	みずほ	42	9.98%	▲ 0.19
3	三井住友	29	6.89%	+0.35
4	三菱UFJ	21	4.99%	▲ 0.09
5	仙台	12	2.85%	+0.67
6	農林中金	8	1.90%	▲ 0.28
7	常陽	7	1.66%	▲ 0.03
8	商工中金	6	1.43%	▲ 0.26
9	岩手	5	1.19%	+0.22
10	東邦	4	0.95%	▲ 0.02

4. まとめ ～ 七十七銀行が圧倒的な存在感、上位 30 行シェア前年比横ばい

七十七銀行がメインバンク社数ならびに業種別、売上規模別を含めて 2 位以下を大きく引き離してトップとなった。また、メインバンク社数上位 8 行（2P、表 1 参照）までを地元金融機関が占めており、その強さが目立った。上位 30 行のシェアは前年比でほぼ横ばいだった。

日本銀行が昨年 3 月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化するなど、長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでいる。実際に、帝国データバンクが昨年 6 月に実施した調査では（企業の「借入金利」動向調査、2024 年 6 月 26 日発表）、2023 年度決算を迎えた企業 4.3 万社のうち半数超が前年度から金利が「上昇」していた。取引金融機関別にみると、金利上昇の影響を受けた企業は「メガバンク」との取引で最も大きく、「地方銀行」が最も小さいなど、取引行によって動向には若干のばらつきも見られた。今後、金利の上昇で利払い負担が増加し、金融機関に支援を求める中小企業が増えてくることが想定されるなか、貸出金利の引き上げ動向が企業における今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

金融機関は、コロナ禍をしのぐために借り入れた債務負担が重い中小企業に対して、事業再生を支援する役割が強く求められるようになった。足元では、再生支援を担う部署や新会社の設立などで事業再生ビジネスに本格的に参入する金融機関も相次ぐ。こうした局面では、地域の中小企業に特に密着した＝「小回りの利く」融資や、経営問題を解決まで導く支援ノウハウ、企業の事業価値を適切に把握する「目利き力」が欠かせない。他方で、長期にわたる低金利での貸し出し競争が常態化してきたことや、中小企業金融円滑化法の施行をはじめ、各種の手厚い金融支援を背景に「借り手＝企業側」に優位な状況が続いてきたことで、貸し出しの現場における融資規律の緩みや「目利き力」の低下といった問題が指摘されている。売り上げの架空計上等決算書の改ざんが発覚した企業の経営破たん、「粉飾倒産」（負債額 1000 万円以上、法的整理）は、2024 年 1～9 月で過去最多ペースとなる 74 件（全国）が判明した。取引の信頼関係を損なう、悪質な行為を行った借り手側に厳しく責任が問われるべきはいうまでもないものの、一方で長期にわたり行われてきた

不正を貸し手側で見破ることが困難な事例も目立っている。

多くの金融機関に対しては、相次ぐ地銀の再編や拠点の統廃合、人員など組織のスリム化を背景に「地元の中小零細企業にきめ細かな対応ができるのか」という懸念もある。このほか、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など、利便性の高い決済機能を強みに攻勢をかけるネット銀行が店舗型金融機関に代わる新たな受け皿として存在感を高めつつある。融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援をどう展開できるのか、メインバンクとして支援する店舗型金融機関の手腕が注目される。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 仙台支店 情報部 紺野

TEL 022-224-1451 FAX 022-265-5060 e-mail keiji.Konno@mail.tdb.co.jp

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい(一部有料の場合もございます)。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。